

科目名 Course Name	開講年次	開講学期	曜日・時限
社会福祉概論 Introduction to social welfare	1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格	履修上の制限
2単位	講義	選択 (栄養士資格必修)	栄養士養成課程限定
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目			
社会保障 I			
同時に履修しておくことが望まれる科目			
高齢者に対する支援と介護保険制度 I			
担当者に関する情報			
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
山田 昇	講義棟 2階	火・水・木9:00～16:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要			
社会福祉の意義・理念・方法等について学習し、現代社会における社会福祉の実態を理解する。具体的には社会福祉の法体系・制度・財政全体の要旨を学習すると共に、福祉従事者としての倫理・援助技術等を学習する。また、栄養士として高齢者施設等へのために介護保険制度の概要について学習する。			
授業の目標			
①現代社会における社会福祉の意義・理念について修得できるようにする。 ②社会福祉の基盤としての所得保障・医療保障及び介護保険制度について修得できるようにする。 ③関連領域として住宅・雇用等の関連制度の概要を習得できるようにする。 ④福祉従事者としての倫理について修得できるようにする。			
授業の方法			
講義を中心に進め、視聴覚教材を活用し実践場面を理解する。授業終了後小レポートの提出を求め、理解度を把握する。			
学習の成果 (学習成果)			
①国民の生活と社会保障・福祉の関連性を理解し、説明することができる。 ②介護保険制度を中心として高齢者福祉サービスを理解し、説明することができる。 ③社会福祉従事者としての倫理・援助技術の概要を理解し、説明することができる。			
授業のスケジュールと内容			
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、留意事項、成績評価等) 現代社会と社会保障、福祉の機能について		
第2回目	社会福祉の概念とその概要 (社会福祉の意義・理念・定義・人権尊重・権利擁護・自立支援等) 及び対象者と主体について		
第3回目	社会福祉の発展 (欧米と日本における社会福祉の歴史と展開)		
第4回目	社会福祉法制の体系と運営組織及びサービスの提供と利用		
第5回目	社会福祉の財政と費用負担		
第6回目	社会福祉における公私の役割及び調整		

第7回目	介護保険制度の概要及び障害者福祉制度の概要		
第8回目	所得保障制度 (生活保護・年金) 及び医療保障制度の概要 レポート作成「これまでの社会福祉、これからの社会福祉について」※提出は第9回目の授業日		
第9回目	雇用・就労制度及び住宅制度の概要		
第10回目	社会福祉援助技術 (その発展と動向と活用)		
第11回目	高齢者・障害者の心理的特性的理解とその援助		
第12回目	居宅サービスと施設サービスの在り方		
第13回目	地域福祉の推進 (概念・内容と推進組織・担い手・地域福祉計画)		
第14回目	社会福祉従事者の概要 (専門性と職業倫理・福祉資格の職務と内容)		
第15回目	これからの社会福祉の動向 授業のまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。
	レポート	10%	第1回～第8回までの講義内容に関するレポートとする。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。
	調査報告書		
	小テスト		
	試験	70%	論述、記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
	発表内容 (態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書: 「よくわかる社会福祉」 ミネルヴァ書房 参考書・参考資料: 授業の都度指示、資料を配布する			
履修上の留意点・ルール			
社会福祉の基礎的な科目であり、年金・医療・福祉・介護等の情報の収集を図ること。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。			